

# 小論文（問題用紙）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

（試験時間 120分）

問題1 次の各問に答えなさい。答えのみを解答欄に書きなさい。分数の場合は約分して分数のまま答えなさい。

(1)下は、A～Dの4名の3回の試験の点数と平均点の表である。

	A	B	C	D
第1回	68	84	46	ア
第2回	52	59	71	66
第3回	78	73	78	79
平均点	66	イ	65	73

- (a) この表のア、イはそれぞれ何点か答えなさい。
- (b) 次に第4回のテストを受けたら、4名の試験の平均点がすべて70点となりました。第4回のテストの4名の合計点は何点か答えなさい。

(2) 分子が1である分数が2つあり、その和が $\frac{8}{15}$ であるとする。このような分数の組を2組答えなさい。

(3) 2つのかたよりのないサイコロを同時に投げる試行を考える。

- (a) 二つの目の和をXとする。Xの期待値を求めなさい。
- (b) 大きい方の目をYとする。Yの期待値を求めなさい。

(4) ある工場では2つの製品A、Bを作ることになった。それぞれの製品1つ作るのに、製品Aは、原料アが8キログラム、原料イが3キログラム必要で、製品Bは、原料アが5キログラム、原料イが4キログラム必要だとする。なお、原料アは合計で86キログラム、原料イは合計で45キログラムまでしか使えない。製品1つあたりの利益は、Aが4万円、Bが3万円であるとする。

- (a) 製品A、Bの生産個数をそれぞれ、 $x$ 、 $y$ とする。原料アに関する制約条件を式で書きなさい。
- (b) 利益が最大になる $x$ 、 $y$ の組み合わせを答えなさい。
- (c) その時の利益を答えなさい。

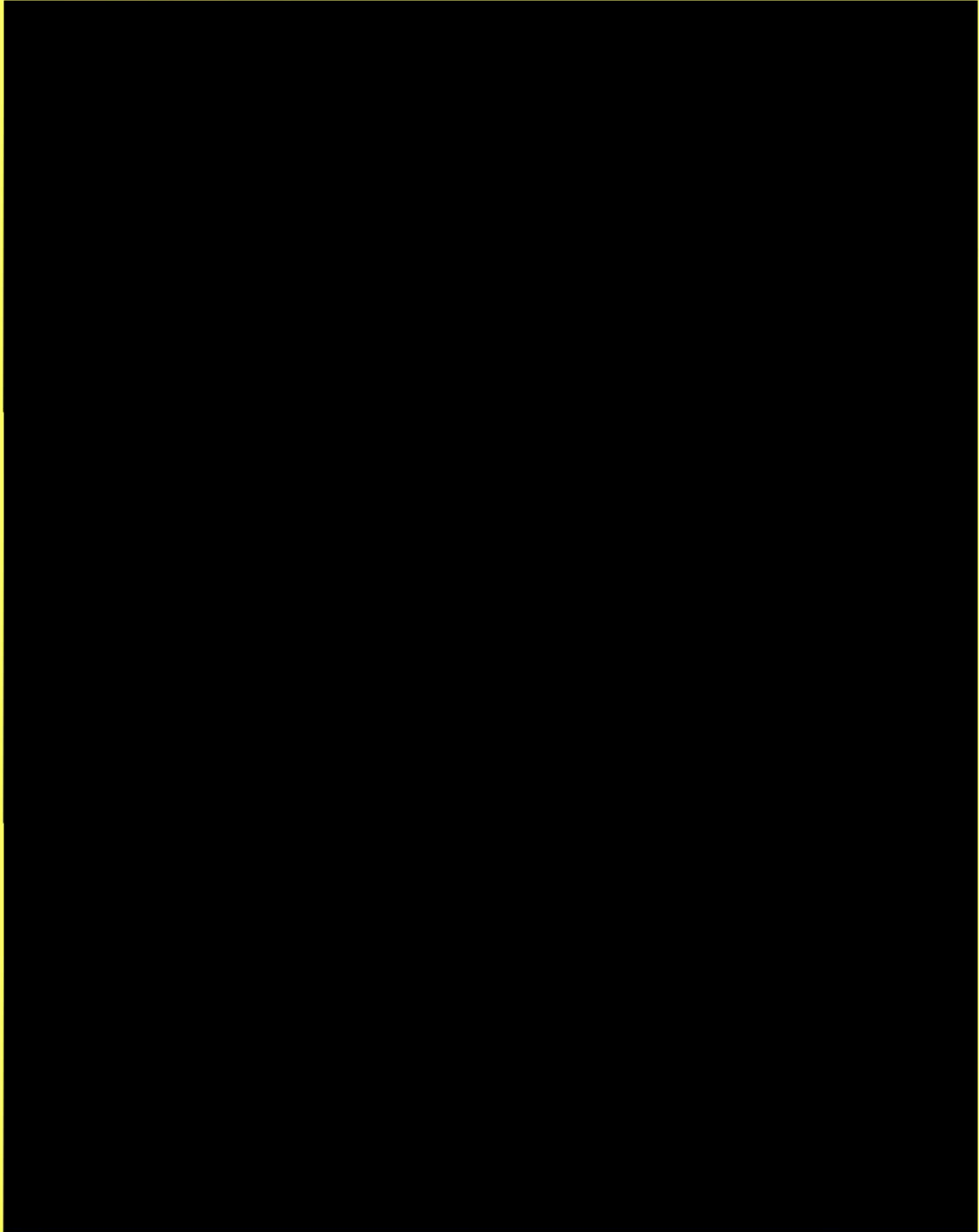
# 小論文（問題用紙）

受験番号

氏名

（試験時間 120分）

問題2 以下の文書を読み、続く設問1～3に答えよ。



# 小論文（問題用紙）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

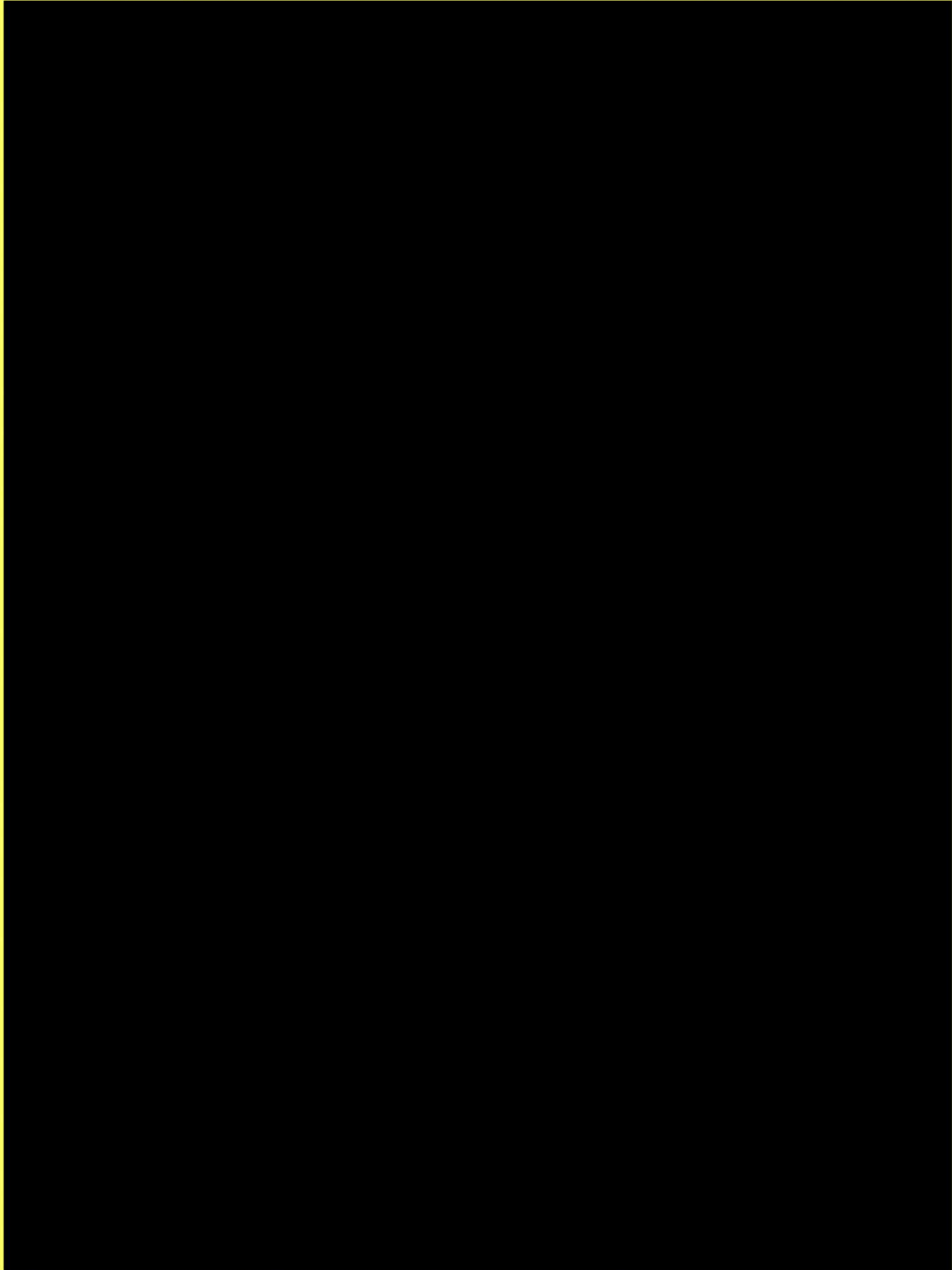
（試験時間 120分）



# 小論文（問題用紙）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

（試験時間 120分）



## 小論文（問題用紙）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

（試験時間 120分）

日本経済新聞 2023年4月26日「経済教室」（稲水信之著）より抜粋

【設問1】  および  に入る語句をそれぞれ答えよ。

【設問2】 筆者は、オフィス内利用場所の多様性、1日当たり平均オフィス滞在期間、チャット量の3要素から、従業員の創造・革新行動の傾向を読み取れると分析している。これら3つの要素がどうであれば、従業員の創造・革新行動が高くなる傾向にあると言えるのだろうか。文中の図を参照しながら、①の空欄に収まるよう100字から120字で答えよ。（英語で回答する場合は、50ワードから75ワードで答えよ。）

【設問3】 筆者は②の空欄内に、勤務場所が多様すぎることで、創造・革新的な仕事ができなくなる理由を述べている。勤務場所が多くなることで、なぜ従業員は創造・革新的な仕事ができなくなると考えられるのだろうか。②の空欄に収まるよう理由を20字から50字で答えよ。（英語で回答する場合は、10ワードから35ワードで答えよ。）

【設問4】 デニス・ルソー米カーネギーメロン大教授が提唱した「i-deals」の概念を、筆者は「個々の従業員が上司や会社と理想とする働き方を交渉してある種の特別扱いを認めてもらうこと」（下線部参照）と説明している。「ある種の特別扱い」を受けるための条件があるとしたら、どのようなものだろうか。あなた自身の言葉で、200字以内で説明せよ。（英語で回答する場合は、125ワード以内で答えよ。）

必要に応じて次ページの空白を問題1の計算や、問題2の論述の下書きとして使用しなさい。

# 小論文（問題用紙）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

（試験時間 120分）

〈以下余白〉